

# JCCA

Kyushu Branch, Japan Civil Engineering Consultants Association

九州支部  
支部だより

Vo1. 41 2018. 7

支部長のご挨拶.....	1	総務・企画部会.....	11	夢アイデア部会・共助研.....	21
支部組織図.....	2	対外活動部会.....	18	夢アイデア・共助研報告書.....	22
H30 事業運営方針とH29 事業報告.....	3	技術部会.....	19	平成 30 年度会員名簿.....	30

撮影者：よした（牛頸ダム）「つばやき写真コンテスト児童生徒の部・最優秀賞」



日頃より、一般社団法人建設コンサルタンツ協会並びに同九州支部の活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当九州支部は、支部会員数は149社（4月現在）を抱え、本年度で50周年を迎えます。これもひとえに、関係する皆さまのご支援の賜物と感謝申し上げます。

支部の活動範囲としては、九州・沖縄の8県に亘っています。会員相互並びに関係諸機関や地域の皆様と連携しながら、各社の得意分野を中心にして、地域で暮らす14百万人を超える人々の安全・安心の確保と、その基盤である道路、鉄道、空港、港湾、河川、ダム、上下水道などの社会資本整備における企画、調査、設計、施工監理等の業務に事業者の技術的パートナーとして活動しています。

ここ九州では、一昨年熊本地震の復興途上にある中で、昨年7月の九州北部豪雨災害、同9月の台風18号災害等により、復々多くの人的被害が発生し、公共土木施設にも甚大な損失が生じました。未だ避難生活を余儀なくされておられる被災者の方々も多く、喪失・被災したインフラの復興、地域の再生に向けて会員各社はもとより、支部としても積極的な対応を継続しているところです。最前線で活動する会員各社への後方支援、個社の枠を超えた連携強化を行い、業界全体の取組みとして成果を上げていく活動が、従来に増して強く求められている時だと認識して一丸となって日々活動しています。

また、支部活動は復旧・復興支援以外にも、ホームページに掲載しているとおり多岐にわたっています。大規模災害発生時に備えた災害協定締結等の危機管理事前活動はもとより、会員会社の技術水準や経営水準の向上を目指した研修等の諸施策をはじめ、支部の独自活動である「夢アイデア事業」を通じて、地域の皆様とともにそこに暮らす人々の笑顔あふれる地域社会の育成支援活動を行うなど、ハード・ソフト両面で広い意味の社会的共通資本の形成に努めています。

我が国の現状は、人口減少、少子高齢化、インフラの老朽化、多発する大規模災害、地政学上のリスクの増大等、取り巻く環境が近年大きく変化し、今までに経験したことのない領域に向かって急速に進んでいます。我々建設コンサルタンツは、過去と現在の客観的事実に基づいて、明日へ続く社会を構築する技術・技法の供給源として日々研鑽に努め、発注者としての行政機関や地域の皆様の頼れるパートナーとして、国民に常に必要とされる公器となるべく活動することをその使命としています。

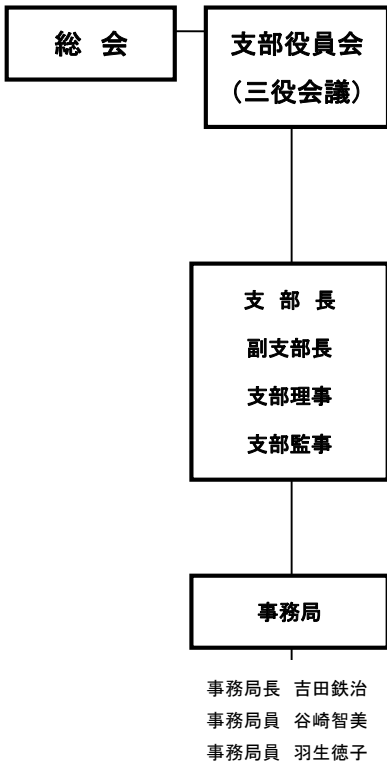
引き続きまして、支部・会員各社に対するご理解と一層のご支援をお願いするとともに、お気づきの点に関しましてのご要望やご意見を賜れば幸甚でございます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年4月17日  
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部  
支部長

福島 宏治





支部役員		
支部長	福島 宏治	福山コンサルタント
副支部長	秋葉 努	建設技術研究所
副支部長	柴田 貴徳	福山コンサルタント
支部理事	山田 益司	ホービット
支部理事	藪内 一彦	オリエタルコンサルタント
支部理事	田上 裕	基礎地盤コンサルタント
支部理事	田中 清	第一復建
支部理事	山口 貴康	玉野総合コンサルタント
支部理事	中島 城二	長大
支部理事	中川 裕	西日本技術開発
支部理事	渡邊 俊光	日本工営
支部理事	三重野秀信	復建調査設計
支部理事	上杉 泰右	八千代エンジニアリング
福岡(理事)	中野 安久	西鉄シーイーコンサルタント
佐賀(理事)	合志 勉	九州技術開発
大分(理事)	柿原 俊二	日進コンサルタント
熊本(理事)	椎葉 晃吉	水野建設コンサルタント
宮崎(理事)	野尻 周男	晃和コンサルタント
鹿児島(理)	山内 康功	大進
監事	藤田 茂久	東亜建設技術
監事	細野 典明	いであ

平成 30 年 4 月 18 日現在

**総務・企画部会**

部会長：  
上杉 (八千代)

副部会長：  
山口 (玉野)  
中島 (長大)

**対外活動部会**

部会長：  
田中 (第一復建)

副部会長：  
藪内(オリエタル)  
中野(西鉄CE)  
合志(九州技術開発)  
柿原 (日進C)  
椎葉(水野建設)  
野尻 (晃和C)  
山内(大進)

**技術部会**

部会長：  
渡邊(日本工営)

副部会長：  
田上(基礎地盤C)  
細野(いであ)

**夢アイデア部会**

部会長:中川(西技)

副部会長:山田(ホービット)  
三重野(復建調査)

**特別部会**

部会長:福島(福山)

副部会長:秋葉(建技)  
柴田(福山)

**地域部会**

部会長:野尻(晃和C)

- 総務委員会** 委員長 1 名、副委員長 3 名  
委員長：藤山 勤 (第一復建)  
副委員長：篠島 聖二 (日本工営)  
副委員長：長尾 智洋 (西鉄シーイーコンサルタント)  
副委員長：寺澤 善理 (福山コンサルタント)
- 企画委員会** 委員長 1 名、副委員長 2 名  
委員長：池田 好克 (福山コンサルタント)  
副委員長：小林 博昭 (西日本技術開発)  
副委員長：安永信一郎 (国土技術コンサルタント)
- 女性技術者委員会** 委員長 1 名、副委員長 2 名  
委員長：笠瀬明日香 (建設技術研究所)  
副委員長：清角 知子 (福山コンサルタント)  
副委員長：柿原 ゆり (東京建設コンサルタント)
- 若手技術者委員会** 委員長 1 名、副委員長 3 名  
委員長：清水 亨一 (西日本技術開発)  
副委員長：石橋 俊将 (西日本技術開発)  
副委員長：太刀掛正俊 (長大)  
副委員長：倉原 謙介 (玉野総合コンサルタント)
- 広報委員会** 委員長 1 名、副委員長 2 名  
委員長：北岡 大記 (福山コンサルタント)  
副委員長：山崎 祐一 (日本工営)  
副委員長：水戸 祐二 (長大)
- 対外活動委員会** 委員長 1 名、副委員長 2 名  
委員長：入江 達雄 (建設技術研究所社)  
副委員長：鶴田 芳昭 (東京建設コンサルタント)  
副委員長：野上 和彦 (福山コンサルタント)
- 防災委員会** 委員長 1 名、副委員長 1 名  
委員長：渡邊 弘志 (応用地質)  
副委員長：陣内 和久 (第一復建)
- 河川技術委員会** 委員長 1 名、副委員長 2 名  
委員長：松田 如水 (パシフィックコンサルタント)  
副委員長：西島 武 (八千代エンジニアリング)  
副委員長：杉本 博幸 (いであ)
- 道路技術委員会** 委員長 1 名、副委員長 3 名  
委員長：勝谷 康之 (千代田コンサルタント)  
副委員長：西村 一朗 (長大)  
副委員長：田中 智行 (中央コンサルタント)  
副委員長：石倉 昇 (オリエタルコンサルタント)
- 環境・都市等技術委員会** 委員長 1 名、副委員長 2 名  
委員長：和泉 大作 (建設技術研究所)  
副委員長：前田 武 (復建エンジニアリング)  
副委員長：大濱 淳司 (八千代エンジニアリング)
- 講師派遣委員会** 委員長 1 名、副委員長 2 名  
委員長：佐藤 孝之 (西日本技術開発)  
副委員長：宮本 一史 (八千代エンジニアリング)  
副委員長：森山 秀馬 (第一復建)
- 情報委員会** 委員長 1 名、副委員長 2 名  
委員長：和田 誠一 (オリエタルコンサルタント)  
副委員長：塩尻 恭士 (長大)  
副委員長：山田 敏久 (福山コンサルタント)
- 品質向上委員会** 委員長 1 名、副委員長 2 名  
委員長：高山 淳一 (大日本コンサルタント)  
副委員長：黒田 兆次 (建設技術研究所)  
副委員長：畑 秀明 (千代田コンサルタント)
- 夢アイデア企画委員会** 委員長 1 名、副委員長 3 名  
委員長：鷹羽 誠 (東亜建設技術)  
副委員長：平野 巖 (東亜建設技術)  
副委員長：荒井 和久 (オリエタルコンサルタント)  
副委員長：外山 秀人 (八千代エンジニアリング)
- 夢アイデア実行委員会** 委員長 1 名、副委員長 3 名  
委員長：白石 悦二 (日本工営)  
副委員長：福満 孝博 (玉野総合コンサルタント)  
副委員長：待田 和幸 (パシフィックコンサルタント)  
副委員長：清角 知子 (福山コンサルタント)
- 独禁法に関する特別委員会** 委員 支部理事
- 災害対策委員会** 必要に応じて設置
- 九州支部創立 50 周年記念事業準備委員会**  
委員長：柴田 貴徳 (福山コンサルタント)  
委員長代行：秋葉 努 (建設技術研究所)  
副委員長：大和 則夫 (東京建設コンサルタント)  
副委員長：田中 清 (第一復建)
- 各県部会**

平成 28 年に 2 度の最大震度 7 を記録した熊本地震の対応の中で、平成 29 年 7 月に筑後川中流部右岸地域を中心に九州北部豪雨災害が発生し、朝倉市をはじめ周辺地域に甚大な被害をもたらしました。

九州地域は、地震・火山・豪雨災害が頻発し、九州地方整備局をはじめ、関係自治体が協力してこれらの災害から住民の安心・安全を確保してゆくために、さまざまな対応を行っております。

我々建設コンサルタントは、災害対応を行う行政に速やかに協力できるように、災害協定を締結して、支援を行っており、防災・減災対策の推進に向けて協力しています。

また、近年社会資本のストック効果に改めて注目が集まり、その整備の必要性が再認識されるようになってきました。その中で、社会資本整備の重点施策である国土強靱化、防災・減災対策の推進に向け、建設コンサルタントに求められる役割は、さらに重要なものとなってきています。

そのため、我々建設コンサルタントは、国民の安心・安全な暮らしを支える強靱で持続ある国土形成のために、社会資本の確実な整備と維持管理の計画的・持続的推進が重要である認識のもと、この役割を担うために優れた品質かつ適正な価格で継続的に果たしていくことが、発注者のパートナーとしての与えられた社会的使命であると考えています。

しかし、我々をとりまく環境として、経営環境の悪化による「建設コンサルタント企業の健全な発展」および「技術者の魅力向上と展望ある成長」が困難な状況にあります。とりわけ離職者の増加と新卒者・若手技術者の減少が顕著となっており、技術の継承が著しく困難になるという深刻な課題に直面しています。われわれは、改正品確法の基本理念である「担い手の中長期的な育成・確保」と「公共工事の品質確保」を実現するための具体的な方策を掲げて活動する必要があります。

さらに、建設現場の生産性向上等を目指して平成 28 年 1 月に打ち出された「i-Construction」施策は、現場の測量から、設計、施工、検査までに至る建設プロセス全体に ICT 技術を導入・活用する事により生産性向上を図るもので、建設コンサルタントにもその対応が求められてきています。

我々は、そのような状況にある中、発注機関とのパートナーシップの維持向上と相互理解を図るとともに、会員会社共通の課題認識とその解消、さらに魅力ある職業としての確立等に向けて、①経営の安定と処遇の改善、②就業環境の改善と生産性の向上、③品質の確保・向上、④社会的な認知度の向上等に、業界全体で取り組んでいく必要があります。

また、本年 6 月 7 日には、九州支部創立 50 周年記念事業を開催いたします。振って参加願います。

以上の状況を踏まえ、建設コンサルタンツ協会九州支部の平成 30 年度事業は、以下の運営方針で進めていくことをご提案いたしたいと考えます。

#### (1) 魅力ある建設コンサルタントに向けた総合的な環境整備

- ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
- ② 経営の安定化と就業環境の改善および魅力ある職業の確立のための環境整備
- ③ 若手・女性技術者が働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

## **(2) 技術力と品質の確保・向上の促進**

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策の実施
- ② 生産性向上等各種の政策や先進技術等の情報提供と取組みの促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の維持管理事業への取組みの促進

## **(3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進**

- ① 建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等の産学官一体となった広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供
- ③ 各種社会貢献活動等の継続と充実（夢アイデア交流会、講師派遣等含む）

## **(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底**

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動推進
- ② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・支援等

## **(5) 会員であることによる便益向上の一層の促進**

- ① 上記4項目による便益について再認識の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ 各県部会所属会員のためのサテライト講習会の拡充

（九州支部創立50周年記念事業の開催）

### **[補足説明]**

- 1) 事業運営の大きな柱として、(1)・(2)・(3)を立てる。
  - (1) は建設コンサルタント事業の根幹に関わる方針、
  - (2) は当該事業の立脚点である技術力と品質に関わる方針、
  - (3) は当該事業の社会的位置と貢献に関わる方針である。
- 2) (4) は建設コンサルタント事業を営む上での絶対的条件である職業倫理と法令遵守に関わる方針である。
- 3) (5) は特に会員の便益向上の一層の促進に関わる方針である。

以 上

九州地域においては、平成 28 年 4 月に発生した未曾有の熊本地震に続き、29 年 7 月には筑後川中流部を中心に九州北部豪雨災害が発生し、周辺地域に甚大な被害をもたらしました。発災直後より九州地方整備局をはじめとする関係機関との連携のもと、支部会員による高度な技術力に支えられた質の高い支援が実施され、現在もお継続中です。ご尽力を頂いた会員各位に改めて敬意と感謝を申し上げますとともに、改めて自然災害の脅威にさらされている現実を再認識することとなりました。

近年、九州はもとより我が国の広範囲の地域において自然災害が多発し、これらのリスクに対する国土強化や防災・減災対策の推進および被災地における復旧・復興等の社会的重要性は、さらに強く認識されるものとなりました。また一方では、高度経済成長期に整備された社会資本の老朽化に対する適切な維持管理、長寿命化、更新等の必要性に対する社会的認識も一層高まり、もはや遅滞の許されない状況となっています。これらの社会資本に関わる喫緊の課題に対して、建設コンサルタントの果たすべき社会的役割はますます増大しています。

近年におけるこれらの課題認識のもと、平成 26 年 6 月には改正品確法が施行され、「建設分野における担い手の中長期的な育成・確保の促進」を趣旨として、発注者責務である適正な利潤が確保できる予定価格の設定、計画的な発注、適切な工期設定等が明確に規定されるとともに、関係主体が取り組むべき事項等が明示されました。これを受けて、同年 9 月には「発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会」が設置されました。本会は、信頼性の高い良質な社会資本整備のための企画、調査、計画、設計、施工、維持管理などの事業の流れと、これらを執行していく主体の関わり方および相互の関係等を包括する建設生産システムの改善について議論することを目的としています。特に建設コンサルタント業務については、「調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会」が 25 年度以降継続的に開催され、種々の施策等が実施に移されています。さらに、27 年 1 月には国土交通省策定による運用指針が公共工事情品質確保関係省庁連絡会議において取り決められ、その後種々の公共事業発注機関において履行促進が図られています。

また一方では、永年の懸案である長時間労働の改善や、女性活躍推進法を踏まえた女性技術者のための環境整備、労働と生活の調和を目指すワークライフバランスの推進など、「働き方改革」が喫緊の課題としてクローズアップされ、建設コンサルタント業界においても、これらへの取組みが大きな社会的要請事項となっています。

建設コンサルタント業界の企業経営の面では、近年の公共事業予算の安定的推移と、技術者単価の引上げや調査・設計積算基準の改定などにより、平成 24 年度から 26 年度にかけて会員会社の業績は全般的に回復基調となりましたが、27 年度には 1 社あたりの平均売上高・営業利益率が減少に転じ、今後の動向を慎重に注視すべき状況にあります。

以上のような建設コンサルタント業界を取り巻く状況とその実態を踏まえると、本業界における基本的課題は以下のように整理され、これらへの取組みを一層強く推進していく必要があります。

- (1) 企業経営の安定と処遇改善に向けての環境整備
- (2) 受発注者協働による生産性向上と就業環境の改善に向けての取組み強化
- (3) より魅力ある職業としての確立

すなわち、具体的には、



- (1) については、安定的な事業量の確保と技術者単価の継続的な引き上げ、実態に即した歩掛・積算体系への改善及び整備
- (2) については、納期の平準化と必要工期の確保への取組強化による業務執行状況の改善、「土木設計業務等変更ガイドライン」の内容充実・運用推進による契約執行状況の改善、ICT 技術導入・活用による計画・設計・維持管理に係る生産性向上への取組み促進、受発注者協働によるワークライフバランスの改善に向けての施策の推進・強化
- (3) については、維持管理・更新を含めた、社会資本に関する調査、研究、計画、設計などの建設コンサルタント業務の資格づくりと制度化、若手技術者・女性技術者の活用・育成のための入札・契約制度の工夫改善の推進、生産性向上と品質向上に資する新たな事業推進形態の改善・推進、政策立案・事業形成に関する建設コンサルタントの活用、建設産業界の魅力アップと社会資本整備の効用・意義の広報に対する官民一体での推進
- に取り組んでいくことが必要です。

上記のような課題認識に基づき、平成 29 年度においても、九州支部は本部との緊密な連携のもと、国土交通省九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県を含む管内 8 県および 3 政令指定都市と意見交換会等を開催し、これらを通じて種々の課題解決に向けた取組みを行いました。とりわけ九州地方整備局とは実務者による業務円滑化調整会議を 26 年度より継続して開催しており、その協議を踏まえつつ新たな試行業務など適切な改善策の実施も進んでいます。

しかし、課題はなお多く、九州支部全体が一体となって、さらに一層の努力を進めていく必要があります。そのような観点から、29 年度には次に示す運営方針を掲げ、会員各位のご尽力を頂きながら、様々な事業活動を展開して参りました。

## **[ 平成 29 年度運営方針 ]**

### **(1) 魅力ある建設コンサルタントに向けた総合的な環境整備**

- ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
- ② 経営の安定化と就業環境の改善および魅力ある職業の確立のための環境整備
- ③ 若手・女性技術者が働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

### **(2) 技術力と品質の確保・向上の促進**

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策の実施
- ② 生産性向上等各種の政策や先進技術等の情報提供と取組みの促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の維持管理事業への取組みの促進

### **(3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進**

- ① 建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等の産学官一体となった広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供
- ③ 各種社会貢献活動等の継続と充実

### **(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底**

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動推進

② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・支援等

### (5) 会員であることによる便益向上の一層の促進

- ① 上記4項目による便益について再認識の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ 各県部会所属会員のためのサテライト講習会の拡充

(九州支部創立50周年記念事業の準備)

[補足説明]

- 1) 事業運営の大きな柱として、(1)・(2)・(3)を立てます。(1)は建設コンサルタント事業の根幹に関わる方針、(2)は当該事業の立脚点である技術力と品質に関わる方針、(3)は当該事業の社会的位置と貢献に関わる方針です。
- 2) (4)は建設コンサルタント事業を営む上での絶対的条件である職業倫理と法令遵守に関わる方針です。
- 3) (5)は特に会員の便益向上に関わる方針です。

具体の事業活動については、支部役員会での審議結果に基づき、総務・企画部会、対外活動部会、技術部会、夢アイデア部会、特別部会、地域部会の6部会とその下部組織である合計17の委員会が中心となり、会員会社や事務局の支援・協力のもと、自律的かつ積極的な活動を展開して参りました。

これらの活動に対する広範な支持と賛同もてつだって、九州支部の会員数は、平成29年度末には148社となりました。これは発足以来最大の規模であり、全国の支部の中でもトップクラスの陣容となっています。

活動内容の詳細は、各部会報告に示すとおりですが、運営方針に沿った全体の総括を、以下にご報告いたします。

### (1) 魅力ある建設コンサルタントに向けた総合的な環境整備

#### ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起

既述のように、昨年度と同様、国土交通省九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局および各地方自治体と意見交換会等(国の機関とは本部・支部で、地方自治体とは支部単独で開催)を実施しました。九州地方整備局とは、支部単独による実務者レベルの業務円滑化調整会議も実施しました。

各自治体との意見交換会では、建設コンサルタント白書に掲載された全国データに加え、支部会員会社へのアンケートによる発注者別のデータを充実させ、それぞれの特徴を考慮した「要望と提案」をとりまとめ、課題解決型の意見交換ができるように努めました。その際、昨年度と同様、各県部会が主体となって地元会員会社からの意見をとりまとめて頂き、意見交換内容の充実にも努めました。

九州支部作成の「要望と提案」については会員の声を反映した論理構成による内容とするとともに、各要望項目の進捗状況を一覧表にするなど、目標の達成度合いを明確に比較検証できるように整理しました。このような工夫を行うことで、各発注者と充実した意見交換会ができるように改善されてきたことに加え、受注者側の認識する課題に対して発注者側の理解が一層進んで来たことと評価されます。

#### ② 経営の安定化と就業環境の改善および魅力ある職業の確立のための環境整備

上記の意見交換会においては、公共事業予算の動向を踏まえながら、国の機関および各自治体の今後の発注見通しについて可能な限りの情報提供を求めるとともに、それを踏まえた会員会社の雇用方針すなわち担い手の中長期的な育成・確保、および就業環境整備等の方向性検討による経営の安定化に資する取組みを進めました。

建設分野におけるこの就業環境の改善への取組みは極めて重要な課題であり、とりわけ労働時間の削減とワークライフバランスの推進は、建設コンサルタント業界としても、受発注者双方で取り組むべき喫緊の課題で



す。29年度における発注者との意見交換会においても「必要な工期の確保と納期の平準化」、「日常業務遂行ルールの遵守（いわゆる「ウイークリースタンス」）」や「ノー残業デーへの理解」などを要望し、各発注者より前向きな回答を得ております。特に、九州地方整備局との業務円滑化調整会議においては、この就業環境の改善を主要テーマの一つとして取り上げ、具体的な指針を盛り込んだ試行業務の実施まで、課題解決に向けた取組みが進んでいます。

また「ノー残業デー」については、本部主催の全国一斉の取組みに呼応し、支部においても多くの会員会社が参加しています。

### ③ 若手・女性技術者が働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

上記の業務円滑化調整会議において、若手・女性技術者の活躍を促進するような業務発注のあり方を受発注者協働で検討を行い、具体的な試行業務の実施にまで施策を進めています。また、地方自治体へは、意見交換会において、九州地方整備局の取組みを紹介しつつ、少しずつでも具体的な取組みが進められるよう要望しています。

一方支部においては、昨年度に引き続き「若手技術者交流会」を開催し、若手技術者による業務成果の発表と活発な意見交換を行いました。この会には、大学生の参加も働きかけ、多数の参加を得ました。発表会後の懇親会は、若手技術者相互のみならず学生と若手技術者の交流の機会とし、リクルート活動の一環としても効果的な場としました。また、若手技術者への支部活動に関する理解促進を目的に、広報委員会の活動内容の紹介を行ないました。

また、女性技術者委員会の主催による「第1回女性技術者交流会」を開催し、『女性が働き続けるために』をテーマとしたワールドカフェ形式による意見交換を行いました。その成果等をニューズレター創刊号・第2号として発刊するとともに、女性技術者の現状と課題やあるべき姿等の把握を目的とした会員会社対象のアンケートを実施し、その結果報告を行うなど、活発に活動中です。

## **（2）技術力と品質の確保・向上の促進**

### ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策の実施

会員会社の技術力向上の観点からは、河川、道路、環境・都市の3分野、具体的には、河川、ダム、道路、橋梁、トンネル、環境、都市計画、地方創生等の多岐にわたる個別技術についての各種の技術講演会、現地見学会、技術セミナー、研究会、発注者との技術意見交換会等を実施しました。特に橋梁については、PC建協・橋建協との意見交換会の開催や全国建設研修センターとの共催による「道路橋メンテナンス技術講習会」を開催しました。また、

今後の新たな市場へのアプローチとして、「地方創生のまちづくり」、「地球環境問題（再生可能エネルギー）」、「グリーンインフラ」等について、さらに熊本地震の被災地における「復興まちづくり」についても積極的に取組みを進めています。

品質向上の観点からは、多様な分野について継続的な改善施策の検討を行うとともに、効果的な情報提供と啓蒙活動を進めています。具体的には、発注者の技術職員研修会への講師派遣を継続的に実施するとともに、支部が開催を支援する本部主催の「マネジメントセミナー」や「エラー防止セミナー」への発注者からの参加も促進し、委託業務に関わる事業全体の品質向上に大きく寄与しています。また、支部独自でエラー防止等に関する地域セミナーを開催していることに加え、「若手技術者のための技術交流会」を継続的に開催しています。

### ② 生産性向上等各種の政策や先進技術等の情報提供と取組みの促進

本部の関係委員会と連携しながら、各種の政策や先進技術等の情報収集を行うとともに、講習会等を通じて会員会社へ情報提供を実施しています。具体的には、「GIS講習会」、「CIMハンズオン講習会」、「ICT普及セミナー」、「情報セキュリティ講習会」を開催し、また地域会員向けにも地域セミナーを実施しています。

また、i-Constructionの推進に関する取組みの一環として、九州地方整備局の設置による「産学官連携会議」

へ参画し、最新情報の収集と提供を進めています。

### ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の維持管理事業への取組みの促進

上記の技術分野のうち、河川、ダム、道路、橋梁、トンネル等については、九州地方整備局の各担当部局との意見交換会、勉強会、研究会等を開催し、その中で受発注者協働による今後の維持管理事業のあり方等について検討を進めています。特に橋梁については、「道路橋メンテナンス講習会」の実施や、PC 建協・橋建協との合同研究会等による維持管理事業への取組みを進めています。

## (3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

### ① 建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等の産学官一体となった広報活動の強化

各種の産学官連携によるイベント等の機会を活用しながら、一般市民や学生等を対象に建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等について、広く情報発信を進めています。具体的には、「土木の日 ファミリーフェスタ」におけるイベントの実施、「九州建設技術フォーラム」の一部管理・運営の実施と支部活動 PR ブースの設置および学生向けリクルーティング広報の実施等を行いました。

また、掲載情報の質・量・更新頻度などについて多面的に配慮したホームページによる広報を継続するとともに、担い手育成・確保という喫緊の最重要課題への根幹的な対応策である入職者の増加については、本部の広報戦略委員会と協働しながら、リクルートのための広報戦略強化を進めています。さらに、メディアへの対外広報として、業界紙各社に毎月1回定期的に取材可能情報を連絡するとともに、新聞社取材記事のHPへのアップロード等を適宜実施しています。

### ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供

29年度は、「四国地方に大規模地震発生」との想定のもと、本部と連携した協会全体の防災訓練を実施し、大規模災害発生時における会員会社への情報伝達および支援活動の即応性等の検証を行いました。

また、7月の九州北部豪雨に焦点を当てた「防災シンポジウム」を開催しました。講師として九州北部豪雨地盤災害調査団長の九州大学安福教授のご講演をいただき、貴重な知見のご教示をいただきました。

防災についてのPR活動としては、「九州建設技術フォーラム」および宮崎市で開催された「大規模津波防災総合訓練」においてパネル展示を行いました。

### ③ 各種社会貢献活動等の継続と充実

現在九州支部が取り組んでいる社会貢献活動は、夢アイデア事業と講師派遣を主要な柱としています（災害協定に基づく支援活動も社会貢献の重要な内容ですが、これについては前項で整理しています）。

夢アイデア事業については、提案された夢アイデアを実現化に向けて具体的なアプローチを進めていくことに社会貢献の大きな意義があるとの認識のもと、一般市民のさらに広範な参画を促すとともに、事業推進プロセスの中で、業界をリードし社会貢献を一層充実したものとする有為な人材の育成に取り組んでいます。29年度も、夢アイデアの募集・審査・表彰とそれらの総括としての交流会の開催を、若手会員の尽力はもちろんのこと、支部全体が一丸となって実施しました。夢アイデアの応募は九州地域外からも増加し、夢アイデア事業の素晴らしさと九州支部の特徴的な取組みを、全国に発信することができました。

また、夢アイデアの実現化に向けた取組みについては、福岡市舞鶴公園における「ふれあい動物園」の開設や、宮崎県西米良村小川・横野地区における「柚子園の除草プロジェクト」等を実施するとともに、従来から継続している「ヤギヒツジECO」、「思い出NAVI」、「無礼講ストリート」等の各プロジェクトや「九州郷づくり共助ネットワーク研究会活動」等を着実に進めました。また、新しいプロジェクトの立ち上げへの取組みも開始しました。

講師派遣については、国土交通省や地方自治体および関連団体等の開催する研修会等へ、依頼に基づき最適な人材を派遣し、当該職員への情報提供とその技術力向上の促進に取り組んでいます。この講師派遣は、受発注者双方の共通目標である業務成果の品質向上にも大きく寄与する活動でもあります。

#### **(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底**

##### ① 職業倫理の保持について啓蒙活動推進

「一般社団法人建設コンサルタンツ協会倫理綱領」および「建設コンサルタント技術者の倫理」を常に念頭に置いて業務遂行にあたるよう、役員会等を通じて会員会社への啓蒙に取り組んでいます。

##### ② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・支援等

会員会社への法令遵守の徹底を図るため、建設関連五団体共催による「コンプライアンス講習会（旧「独占禁止法遵守講習会」）」の開催、毎月の「独禁法に関する特別委員会」による情報交換と重要課題に対する取組みについての審議等を実施しています。

また、コンプライアンスプログラム未策定会社への推奨案の提起等、必要な対応を継続的に実施中です。

#### **(5) 会員であることによる便益向上の一層の促進**

##### ① 上記4項目による便益について再認識の促進

毎月開催の三役会議および役員会で種々の支部活動についての審議と方針決定を行い、これに基づき各部会および傘下の委員会活動を実施しています。そして、その成果と課題等についての検討と集約を各委員会および委員長交流会等において行い、その結果を再び三役会議および役員会にて審議し、新たな活動へ向けて展開していく、という PDCA サイクルによって支部活動を実践しています。その中で、常に上記4項目についての便益を、会員会社があまねく享受できるように留意するとともに、活動時期の平準化や委員会相互の情報交流の促進について検討を行い、「会員であることによる便益と満足度の向上」に努めています。特に、地域の会員会社のご意見やご意向等については、本部地域コンサルタント委員会および地域部会を通じて、より一層きめ細かく支部活動へ反映させる取組みを進めています。

また、29年度においても、各部会および委員会活動における経費縮減方針の徹底を進め、効率性の高い支部運営の実践に取り組んでいます。

##### ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供

28年度の支部主催労務管理セミナー「実例から考える労働基準法」に続き、29年度は本部主催の「契約のあり方講習会」（講師は大森文彦弁護士）を開催しました。管理部門の職員のみならず、業務実施現場の技術管理者に必須の極めて実利的な講習内容であり、今後も機会あるごとに情報提供を進めていくことを予定しています。

また、本部主催の「経営分析説明会」を毎年継続的に開催しており、企業経営に関わる重要な現状分析と知見の提供を行っています。さらに本部主管の RCCM 資格試験の支援も毎年継続的に実施しています。

##### ③ 各県部会所属会員のためのサテライト講習会の拡充

28年度から、福岡市で開催する各種講習会を各県部会の会員の方々が受講できるように、サテライト受講システムを導入しました。これも、上記①の「会員であることによる便益と満足度の向上」の取組みの一環です。29年度においても各種の講習会等で運用中であり、今後必要に応じてさらに機能向上や拡充を進めていく予定です。

この他、会員会社相互の親睦と福利厚生のために、軟式野球大会を開催しました（ソフトボール大会はグラウンドコンディション不良のため中止）。

また、九州支部創立50周年記念事業の開催に向けて、支部事務局、記念事業準備委員会および記念イベント企画実行委員会を中心に鋭意準備を進めています。

以 上



## 【総務・企画部会、特別部会】

## 1. 第二回委員長交流会（企画委員会）

- イベント名：平成 29 年度第 2 回委員長交流会  
 開催日：平成 30 年 2 月 2 日（金）15：00～17：00  
 場所：カンファレンスアスクビル  
 参加者：24 名（各委員長、企画委員会）  
 議事：1.平成 29 年度第 1 回委員長交流会議事録について  
 2.平成 29 年度事業運営方針の対応結果について  
 ※各委員長 活動状況の確認  
 3.平成 29 年度収支状況について  
 4.平成 30 年度事業運営方針(案)について  
 ※各委員長 対応方針の確認  
 5.その他事項 サテライト講習会について

## 2. 平成 30 年定時総会（総務委員会）

平成 30 年 4 月 17 日、平成 30 年度定時総会を開催し、下記のとおり報告ならびに決議した。

議案		
（審議）	第一号議案	平成 29 年度事業報告（案）について
	第二号議案	平成 29 年度決算（案）及び監査報告について
	第三号議案	役員の改選（案）について
（報告）	第一号議案	平成 30 年度事業計画について
	第二号議案	平成 30 年度予算について
	第三号議案	支部組織の変更について
	第四号議案	九州支部 50 周年記念事業について

場所：ホテル「センターザ博多」3 階「花筐の間」

## 3. 平成 30 年度委員長交流会（企画委員会）

- イベント名：平成 30 年度委員長交流会  
 開催日：平成 30 年 5 月 29 日（月）15：00～17：00  
 場所：カンファレンスアスクビル  
 参加者：26 名（各委員長、企画委員会）  
 議事：1.平成 29 年度第 2 回委員長交流会議事録について  
 2.平成 30 年度事業運営方針について  
 3.平成 30 年度予算計画について  
 4.平成 30 年度事業計画について（各委員長 事業計画の確認）  
 5.その他事項  
 ・サテライト WG について

#### 4. 第40回軟式野球大会（総務委員会）

イベント名：第39回軟式野球大会

開催日：平成30年6月15日（金）～6月16日（土）

場所：雁ノ巣レクリエーションセンター

参加者：24チーム

結果：優勝：西日本技術開発(株) 準優勝：アジア航測(株)



▲優勝の西日本技術開発(株)



▲準優勝のアジア航測(株)

#### 【特別部会】

##### 1. 九州支部創立50周年記念式典・講演会・祝賀会（50周年記念事業委員会）

イベント名：九州支部創立50周年記念式典・講演会・祝賀会

開催日：平成30年6月7日（木）15:00～20:00

場所：西鉄グランドホテル

参加者：267名

内容：■記念講演会

「アフガンに命の水を～伝統に学ぶ灌漑工法と甦る農業～」

中村 哲 氏（ピースジャパン・メディカル・サービス総院長・ペシャワール会現地代表）

■来賓祝辞

■永年会員会社表彰

いであ(株) 九州支店

(株)エイト日本技術開発 九州支社

(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支店

基礎地盤コンサルタンツ(株) 九州支社

(株)橋梁コンサルタント 西日本支社

(株)建設技術研究所 九州支社

国際航業(株) 九州支社

サンコーコンサルタント(株) 九州支社

第一復建(株)

(株)東京建設コンサルタント 九州支社

(株)東光コンサルタンツ 九州支店

西日本技術開発(株)

日本交通技術(株) 九州支店

(株)日本港湾コンサルタント 西日本事業本部 九州支店

パシフィックコンサルタンツ(株) 九州支社

(株)福山コンサルタント

復建調査設計(株) 九州支社

(株)松尾設計

三井共同建設コンサルタント(株) 九州支社

■つ・ぶ・や・き土木写真コンテスト優秀作品表彰

九州沖縄地方の土木構造物・街並みなどの写真につぶやきを添えて募集した写真（一般 92 作、児童・生徒 87 作）のなかから、審査委員会により最優秀賞・優秀賞・佳作を選出し、表彰した。

■記念祝賀会 記念イベント（CM 総選挙）

建設コンサルタント業界の知名度向上を目的に実績や魅力を伝える CM を作成し、来場者の投票により参加 10 チームのなかから最優秀賞 1 作・優秀賞 2 作を選出した。（優秀作は you tube に公開）

【つ・ぶ・や・き土木写真コンテスト】

賞	撮影した土木施設	氏名
<b>一般の部</b>		
最優秀賞	神橋・千穂大橋・神都高千穂大橋	青野 正夫
優秀賞	熊本県天草牛深ハイヤ大橋	YUJI
	筑後川昇開橋	Junya
佳作	長崎市電	mei
	蘭牟田瀬戸架橋工事現場（甕島）	たにとも
	眼鏡橋（長崎市）	染太郎
<b>児童・生徒の部</b>		
最優秀賞	牛頸ダム	ようた
優秀賞	大濠公園	まみ
	水俣川	横濱 みなみ



▲一般の部・最優秀賞



▲一般の部・優秀賞



▲一般の部・優秀賞





▲一般の部・佳作



▲一般の部・佳作



▲一般の部・佳作



▲児童の部・最優秀賞



▲児童の部・優秀賞



▲児童の部・優秀賞

【CM 総選挙】

賞	タ	発表者
最優秀賞	# 面白かる建コン	チーム「夢と希望」
優秀賞	暮らしを支える建設コンサルタント ～Protect & Sustain Daily Life	建コンと一般市民のギャップに日々悩んでいるチーム
	お姉ちゃんの仕事	SDS
	【寄り添う？結婚？】	Free なアラサー組
	講習会に行こう！	も-も-チーム
	CREATE OF JAPAN ～日本を形づくるのが私たちの仕事です～	ひがしさん
	日常生活の当たり前を支える“土木”	ado (あど)
	わんこの社会科見学	観測員's
	みちをつなぐプランナー	九州の道路が好きでたまらない
	Beyond The C	入社 3 年目チーム



▲最優秀賞



▲優秀賞



▲優秀賞

【創立 50 周年記念誌発行】

A4 サイズ 全 96 ページ



DVD 60 分



# 社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 女性技術者委員会 ニュースレター



以下に、平成29年5月と平成29年11月に実施した、企業向け・個人向け(女性)アンケートの集計結果をご報告いたします。

## ◆実施概要

女性技術者の現状・課題、WLBの取組み状況等の把握を主な目的として、企業・個人を対象にアンケートを実施しました。

## ◆企業向けアンケートのご報告(アンケート結果の一部)

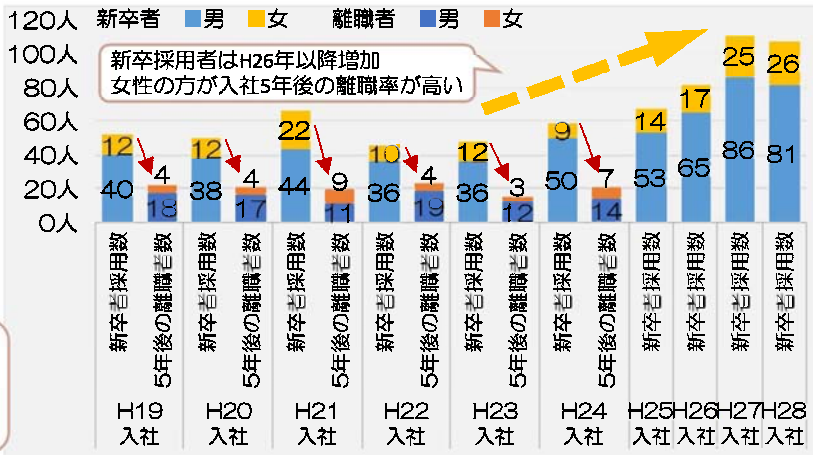
実施期間：平成29年5月22日～平成29年6月9日

回収数：74社(146社を対象に実施 →回収率51%)

Q3.H29年4月1日現在の九州内に勤続している従業員数は？

Q4.貴社の新卒者採用数、入社5年後の離職者数は？

県	役員		技術部門			
	男	女	一般社員		契約社員	
福岡県	139	12	1632	169	97	22
佐賀県	14	0	110	14	3	0
長崎県	3	0	89	6	17	7
熊本県	12	2	137	1	6	7
大分県	45	5	266	24	11	16
鹿児島県	19	2	187	24	12	7
宮崎県	24	6	115	11	6	2
沖縄県	0	0	24	0	14	0
合計	256	27	2583	259	268	153



九州内に勤続している女性技術者は441名/74社  
その内、女性の役員は27名(男女比27/283=10%)  
技術部門一般社員は 259名(男女比259/2840=9%)  
技術部門契約社員は 155名(男女比155/421=37%)  
役員・技術部門一般職の女性は約1割と少ない

Q6-(1).女性の活躍について、企業としての取組みを実施してる？

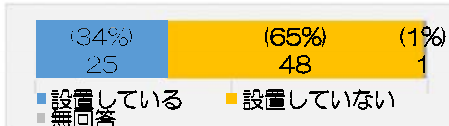


約8割の企業が女性活躍の取組みを実施。  
その企業の取組み内容とは…  
・残業削減(働き方の見直し)  
・仕事と家庭の両立できる制度  
・母性保護に関する制度の充実

フレックスタイム?  
育児休暇?  
短時間勤務?  
介護休暇?  
テレワーク?  
ノー残業デー?



Q8-(1).ワーク・ライフ・バランスを推進する部署、委員会、WG等を設置している？



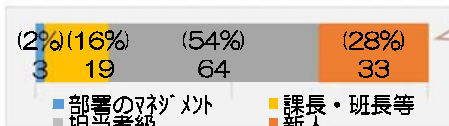
約3割がWLB推進部署を設置。  
(内訳は委員会が最も多い)  
★自由回答で「新たなWLBの取組みを、企業単独で実施する事は困難だ」が多数。

## ◆個人向けアンケートのご報告(アンケート結果の一部)

実施期間：平成29年11月1日～平成29年12月11日

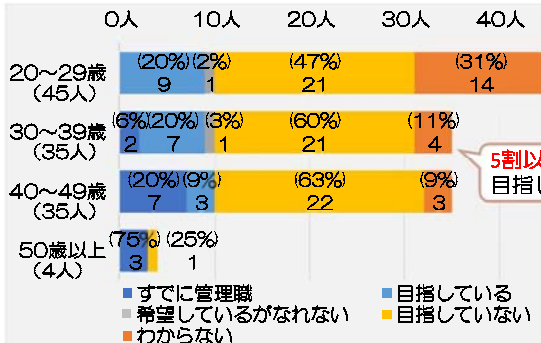
回収数：119人(女性技術者を対象に実施)

I-9.職場でのポジションは？



回答者119人中、  
管理職は2割  
担当者・新人が8割

II-9.管理職を目指している？

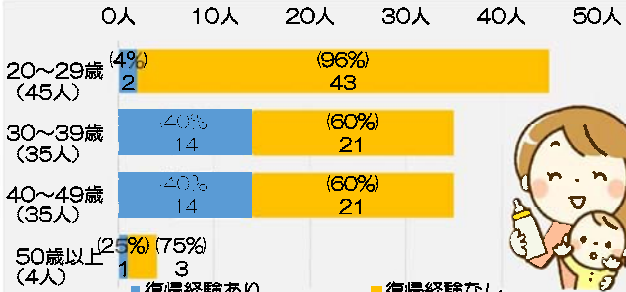


5割以上が管理職を目指していない

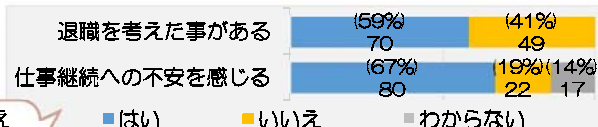


6割が退職を考えたことがあり、7割が仕事継続に不安を感じている

I-10.出産等による休職後に職場復帰した経験は？



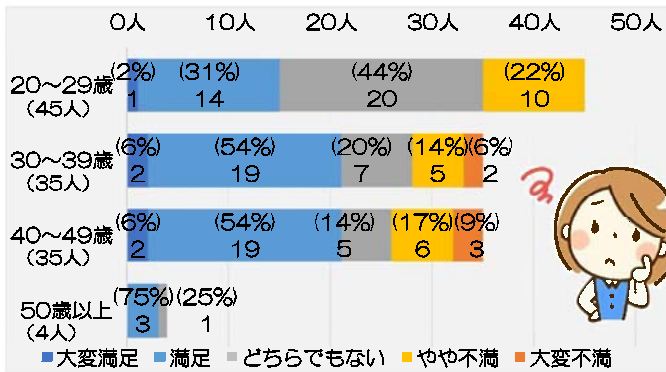
II-5.退職を考えたことがある？仕事継続への不安を感じる？



退職を考えた理由・仕事継続への不安要素  
1位：体力的・精神的な負担  
2位：労働環境(長時間労働、人間関係の悪化)  
3位：WLB(家庭やプライベートとの両立が困難)

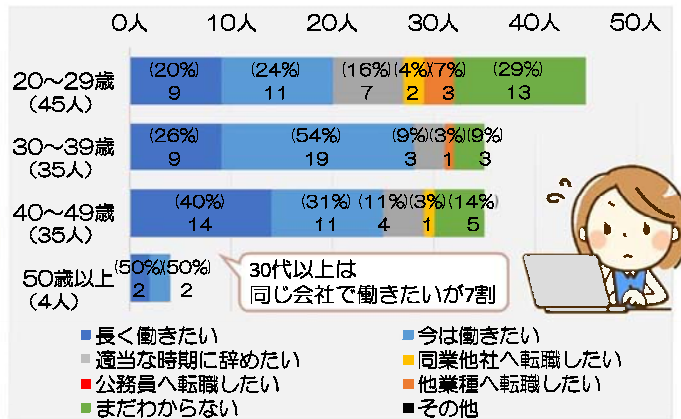


## II-1.現在の仕事に満足？



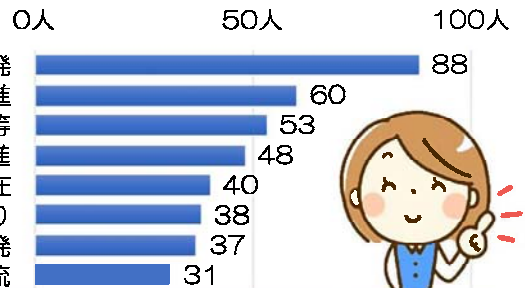
大変満足・満足が全体の5割、やや不満・不満が全体の2割

## II-3.同じ会社で長く働きたい？



## V-1.女性技術者が働きやすい環境づくりのために必要なことは？

男女が働きやすい環境づくりについての周知、啓発  
 女性技術者に対する会社ごとの制度づくり、取組みの推進  
 建設コンサルタント全体での労働環境改善についての発注者への要望や連携等  
 女性技術者に対する建設コンサルタント全体での制度づくり、取組みの推進  
 ロールモデルの存在  
 会社ごとの女性技術者支援のための組織づくり  
 女性が働きやすい環境づくりについての周知、啓発  
 建設コンサルタントが連携した女性技術者のための組織づくり、交流



## ◆女性技術者アンケート 結果概要(まとめ)

働きやすい環境づくりのために建コン協に期待している事は、「男女が働きやすい環境づくりの周知と啓発」「WLBの推進」、また官民での対応が必要な項目として、「年度末の工期集中の分散」「労働環境改善への取組み」が挙げられた

### ①現状・問題点

- ・役員・技術部門一般職のうち、女性は1割程度と少ない
- ・新卒採用は平成26年以降急増。入社5年後の離職者数は5割以上。男性より女性の方が離職率が高い。
- ・8割の企業が女性活躍の取組みを実施。「残業削減」「仕事と家庭を両立できる制度」「母性保護に関する制度」が多い
- ・WLB推進部署の設置や管理職へのWLB研修を実施している企業は約2~3割と少ない
- ・新たなWLBの取組みを、企業単独で実施する事が困難な企業が多い
- ・5割以上が管理職を目指していない。理由は「WLBが困難」が多い
- ・7割が仕事継続への不安を感じており、年齢が高くなるにつれ割合が増加。理由は「体力・精神的な負担」が多い
- ・20代は、辞職・転職・就職継続不明の回答割合が高いが、30代以上は、同じ会社で働き続けたい人が7割以上を占める
- ・働きやすい環境づくりに官民での対応が必要なことは「年度末の工期集中の分散」「労働環境改善への取組み」が多い

### ②課題

- ・若手女性技術者の建コン離れ抑制
- ・女性技術者の「体力・精神的な負担」軽減、労働環境の改善
- ・WLBの更なる推進
- ・発注者との調整・協議による工期分散、労働環境改善の実現

### ③課題・要望から見た今後必要な取組み

- ・今後整備・改善してほしい項目として、連続休暇、リフレッシュ休暇、短時間勤務、子供の介護休暇を希望する人が多い。
- ・女性技術者が働きやすい環境づくりのために必要な取組みは、出産育児等の「母性保護に関する制度の充実」が最も多く、「仕事と家事を両立できる制度」や「残業の削減」と続く。
- 働きやすい職場を作るために、各種制度の充実、残業削減、WLBの推進に関して更なる協力要請します
- ・各社で女性活躍の取組み状況に温度差があるため、建コン協会に期待することは「男女が働きやすい環境づくりの周知、啓発」が最も多く、「WLBの推進」「女性技術者の紹介、情報発信」と続く。
- 働きやすい環境を作るために、企業や女性技術者へさまざまな情報を発信し、職場環境づくりの必要性を周知・啓発します
- ・官民での対応が必要なことは「年度末の工期集中の分散」「労働環境改善への取組み」が多かった。
- 工期分散や労働環境改善に向け、官民相互の理解と協力を求めます

アンケートの結果は、まもなく開設する女性技術者委員会ホームページにて閲覧できます

## ◆「第2回女性技術者交流会」のご案内

- テーマ : 私らしい働き方をするために「めざせ!ダイバーシティ...?」
- 日時 : 2018年9月21日(金) 14:00~17:30 場所:ホテルレオパレス博多 会費:無料
- 主な内容 : 女性技術者による「わたしの働き方」の紹介、参加者全員による意見交換
- 応募方法 : JCCA九州支部から各社へ申込書をご案内申し上げます(今回も女性限定60名程度の予定です)

本誌は、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部 総務・企画部会 女性技術者委員会が発行しています。

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目13-9 (博多駅東113ビル8階)

TEL 092-434-4340 FAX 092-434-4342 Facebookページ:女性技術者委員会(建コン協九州支部)@kirapro.kyu

## 【対外活動部会】

## 1. 自治体との意見交換会総括会見（対外活動委員会）

イベント名：自治体との意見交換会総括会見

開催日：平成29年2月10日

場所：建コン九州支部会議室

参加者：建コン側5名、新聞社5社

内容：

自治体名	開催日	場所	出席人数
佐賀県	2017/10/6	県庁11F1号会議室	県側8人、建コン17人
鹿児島県	2017/10/27	サロヤルビル3F嵐山の間	県側10人、建コン15人
熊本市	2017/10/31	マスコフィールド生命ビル2F入札室	市側17人、建コン18人
熊本県	2017/11/8	県庁本館11F土木部会議室	県側12人、建コン20人
大分県	2017/11/9	大分県庁新館6F入札室	県側8人、建コン16人
北九州市	2017/11/14	北九州市本庁特別会議室A	市側7人、建コン16人
長崎県	2017/11/16	県庁本館2F会議室	県側9人、建コン13人
福岡県	2017/11/29	福岡県吉塚合同庁舎801会議室	県側10人、建コン43人
福岡市	2017/11/30	天神ビル9号会議室	市側17人、建コン28人
宮崎県	2017/12/14	宮崎県庁9号館932会議室	県側9人、建コン22人
沖縄県	2017/12/19	沖縄県自治会館第1会議室	県側7人、建コン8人

## 2. 北九州市と災害協定を締結（対外活動委員会）

イベント名：北九州市と災害協定を締結

開催日：平成30年6月15日（金）

場所：北九州市役所



▲締結時の様子

## 3. 熊本県と災害協定を締結（対外活動委員会）

イベント名：熊本県と災害協定を締結

開催日：平成30年7月31日（火）

場所：熊本県庁

## 【技術部会】

### 1. 道路橋示方書改定に伴う設計計算例講習会（九州）（道路技術委員会）

イベント名：道路橋示方書改定に伴う設計計算例講習会（九州）

開催日：平成30年6月19日（火）10：00～16：45

場所：福岡県中小企業振興センター 2F 大ホール（福岡市博多区吉塚本町 9-15）

参加者：計305名

・建コン会員：196名、日建連会員：11名、PC建協会員：30名、橋建協会員：9名、  
一般（非会員）：46名、九地整：6名、公社：7名

内容：一般社団法人 日本橋梁建設協会、一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会、一般社団法人 日本建設業連合会と「道路橋示方書改定に伴う設計計算例講習会」を開催した。

- ・設計計算書に記載すべき基本事項
- ・鋼橋設計計算例
- ・PC橋設計計算例
- ・下部構造設計計算例

### 2. CIM ハンズオン講習会（情報委員会）

イベント名：CIM ハンズオン講習会 2018(福岡1)

CIM ハンズオン講習会 2018(福岡2)

開催日：平成30年6月21日（木）～22日（金）9：30～17：30

場所：天神ビル 11階 2号会議室

参加者：6/21 土工編 24名（13社）

6/22 Infra編 24名（15社）

内容：国土交通省では、建設生産性向上を図るために3次元モデルを活用した建設生産性システムを構築し、公共調達の品質向上、コスト縮減、維持管理の高度化を達成することを目標として、CIMの導入普及に取り組んでいます。平成28年度末にはCIM導入ガイドラインが公表され、平成29年度から土工、河川、ダム、橋梁、トンネルを対象に本格的なCIMの導入が開始されている。このCIM導入ガイドラインの内容を、協会会員に周知し、実際にパソコンを操作することより、CIM導入ガイドラインへの対応を体験してもらおうハンズオン（パソコンを用いた）講習会を開催した。

#### ■6/21 土工編

使用ソフト：Autodesk Civil 3D

講習内容：現況地形モデルの作成、土工モデルの作成

対象分野：道路、河川

#### ■6/22 Infra編

使用ソフト：Autodesk Infraworks

講習内容：ガイドラインの統合モデルの作成

対象分野：全般



▲CIM ハンズオン講習会 2018 の様子

### 3. マネジメントセミナー（品質向上委員会、本部 マネジメントシステム委員会）

イベント名：平成 30 年度「マネジメントセミナー」（九州会場）

開催日：平成 30 年 7 月 6 日（金） 9：10～16：30

場所：天神ビル 11 階 10 号会議室

参加者：企業：138 名（57 社）、発注者団体：5 名（2 団体） 合計：143 名

内容：「システム改善」、「品質向上」、「環境配慮」、「PFI」、「PM」、の 5 つのマネジメントについて、最新の情報を会員企業に提供した。



▲マネジメントセミナーの様子

### 4. GIS 講習会（情報委員会）

イベント名：平成 30 年度 GIS 講習会（初級編）【福岡】

平成 30 年度 GIS 講習会（中級編）【福岡】

開催日：平成 30 年 7 月 19 日（木）～7 月 20 日（金） 10：00～17：00

場所：天神ビル 11 階 5 号会議室

参加者：初級編 25 名（18 社）、中級編 21 名（15 社）

内容：コンサルタント技術者が実際にパソコンを操作しながら、実際のコンサルタント業務に GIS ツールをどのように適用するのかを修得した。

#### ■初級編 7 月 19 日（木）

GIS の主な機能や適用事例の紹介に加えて、実際に GIS ソフトの操作を行いながら、ソフトの主な機能を確認する講習会である。ソフトをほとんど使った事のない方を対象に、付与するデータを使って、講師の説明に従い GIS ソフトの操作を体験した。

使用ソフト：ArcGIS Pro。

#### ■中級編 7 月 24 日（金）

実際に GIS ソフトの操作を行いながら、GIS ソフトの主な機能とやや高度な機能を確認する講習会である。GIS を多少使った事がある方、過去に GIS 講習会（初級編）を受講された方を対象に、付与するデータを使って、講師の説明に従い GIS ソフトの操作を体験した。



使用ソフト：ArcGIS Pro。



▲平成 30 年度 GIS 福岡の様子

## 【夢アイデア部会】

### 1. 第 1 回子育て環境を考える会プロジェクト（海編）（夢アイデア実行委員会）

イベント名：第 1 回子育て環境を考える会プロジェクト（海編）

開催日：平成 30 年 7 月 28 日（土）15:00～17:00

場所：志賀島 勝馬海水浴場

参加者：29 名

内容：子育て環境を考える会プロジェクト海編として、志賀島 勝馬海水浴場で「海の生物を探しに行こう！」を実施した。

報告書：概要報告書

## 自然観察会「海の生き物を探しに行こう」概要報告

平成 30 年 7 月 28 日（土）、夢アイデアプロジェクト主催の自然観察会「海の生き物を探しに行こう」が福岡市志賀島の勝馬海水浴場で開催されました。

晴天のもと 29 人が集まり、子供たちはウニやヒトデ、魚、貝を見つけては先生に「これ何〜？」と質問攻め。海の生き物の専門家、椿先生に丁寧な説明をしていただきました。

実は、椿先生、普段は環境調査を専門とする建設コンサルタントなんです。

コンサルタントが先生になる出前講座。私たち夢アイデア部会は、今後もこの取組を定期的に進めてまいりますので、ぜひご参加ください。



海の生物観察会の前に、椿先生から生き物の捕まえ方や危険な生物の話がありました。子供たちは真剣に話を聞いていました。





さあ、捕まえるぞ！



先生、これなあに？



大きな貝がいた。



大人も子供も生き物探しに夢中です。



ここにも何かいるよ。



磯のブロックにも、たくさん生き物がいました。





休憩後、浅い海辺に移動しました。



お父さんたち、頑張っています！



貝を探ったよ！



ヒトデ発見！



紫ウニもいる！



今日捕まえた生き物たち。色々な種類がいました。



子供たちが生き物の名前を先生に尋ねます。





このヒトデは赤ちゃんで、成長するとこれになるよ。 これは珍しい。ウミウシです。



最後にビンゴの答えあわせ。いくつあったかな。



ビンゴの賞品に、椿先生から海の生き物の写真をもらいました。



みんなで記念写真。

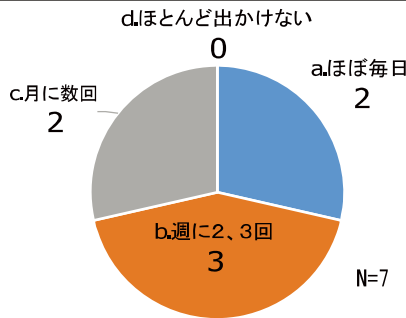
最後に中川部会長からの挨拶。



笑顔いっぱいのとても楽しい夏休みとなりました。参加していただいた皆さま、どうもありがとうございました！

▼アンケート結果

問1 あなたのおさんは、どの程度外に遊びにでかけていますか

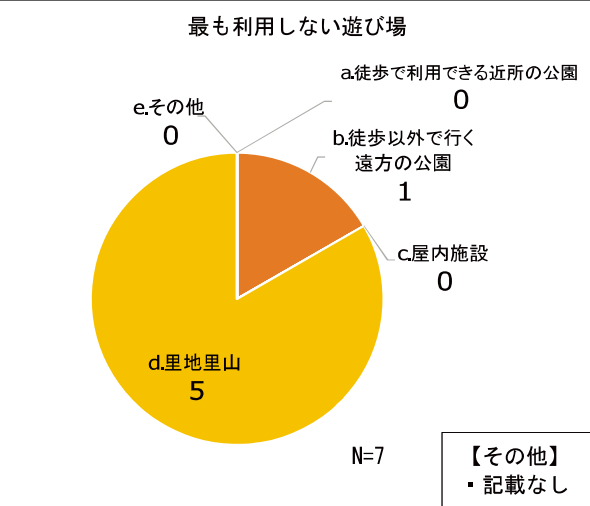
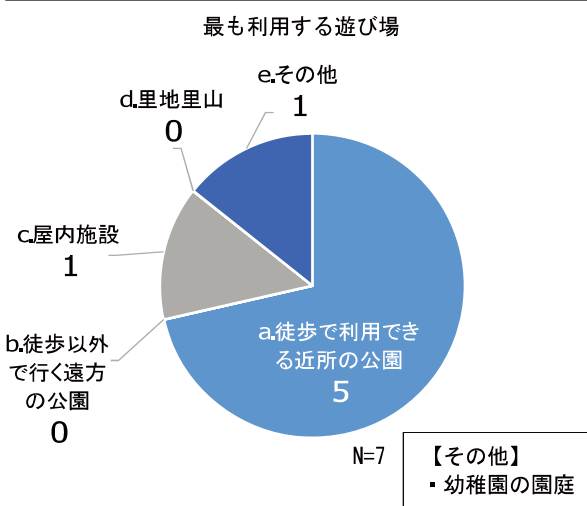


問1で「c.月に数回」、「d.ほとんど出かけていない」と答えた方

問1-1 外に遊びに出かける回数が少ない理由は何ですか

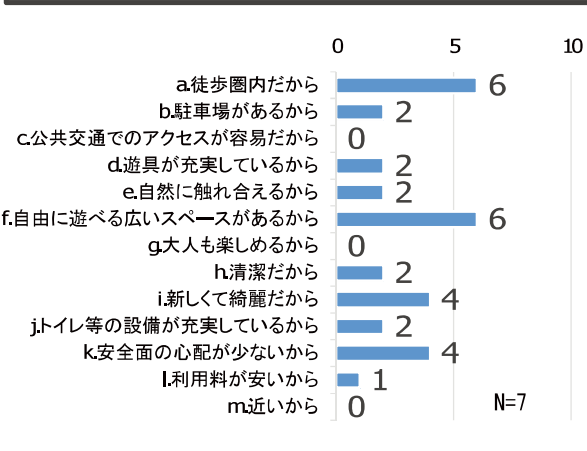
【その他】  
・幼稚園児で大人が連れていく必要がある。

問2 おさんが日常最も良く利用する遊び場と、最も利用しない遊び場を教えてください（その他の場合は遊び場を記載してください）

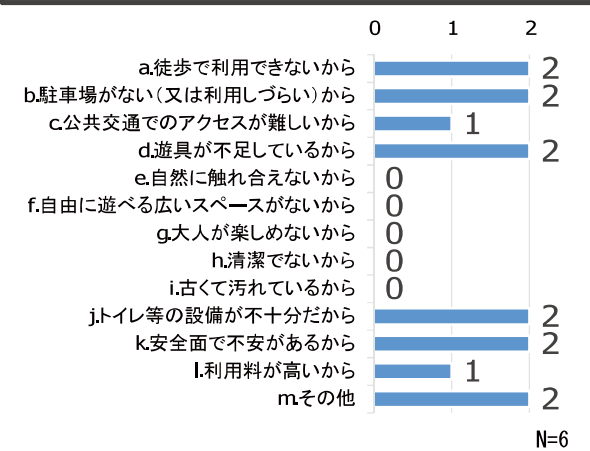


問2で回答された「最も良く利用する遊び場」、「最も利用しない遊び場」について

問2-1 良く利用する理由は何ですか？（複数回答可）



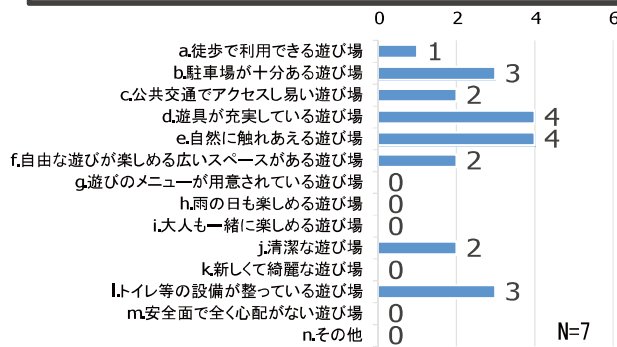
問2-2 良く利用しない理由は何ですか？（複数回答可）



【その他】  
・自家用車で行かないと無理な場所はあまり行けない。  
・遊び場として考えていないから。



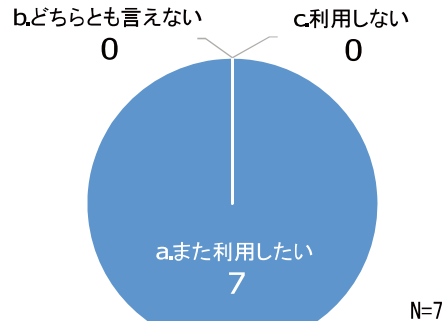
問3 今後、利用したいのは、どのような遊び場ですか（最も当てはまるものを3つ選択）



【意見】 ・記載なし

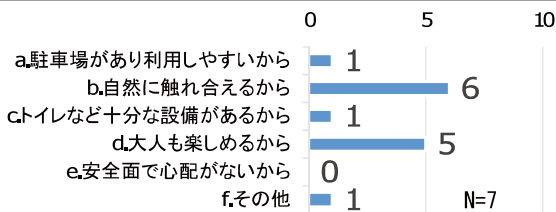
今回のイベントについて

問4 イベントの場所について



問4で「a. また利用したい」と回答された方

問4-1 どうして利用したいと思われますか？（複数回答可）



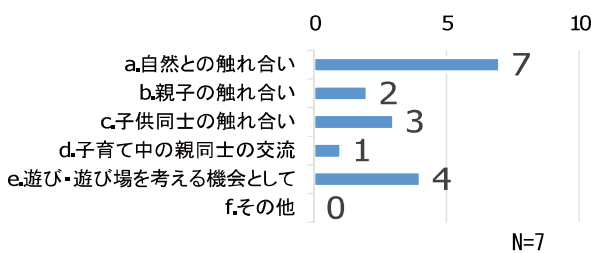
【その他】 ・日頃なかなか経験できないから。

問4で「c. 利用しない」と回答された方

問4-2 どうして利用しないと思われますか？（複数回答可）

※「c. 利用しない」との回答ゼロのため、回答者なし

問5 今回のイベントに参加されて最も良かった点を教えてください



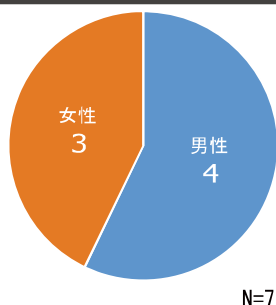
【その他】 ・記載なし

「遊び・遊び場」についてご意見等がありましたらご自由にお書きください。

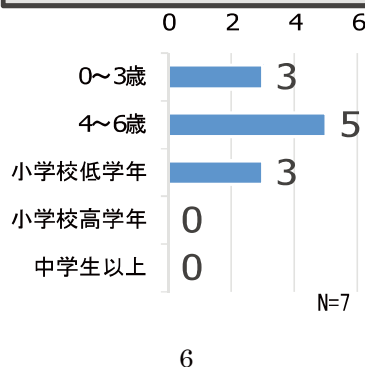
- ・自然を楽しむ公園が少なくなっているの、少しずつでも増やして行って欲しい。
- ・近年は安全な物という方向にありますが、海や山など、自然に触れることで学びも増えると思います。今回は親子共々楽しめました。ありがとうございます。
- ・たくさん参加したいです。
- ・子供たちにもっと自然体験をさせたいので、今回のようなイベントがあれば参加したいです。
- ・今回の場所だと手洗い場が少なく、海水をすぐ洗えない環境だった。できれば施設が少し整備してある環境の方が利用しやすいと思う。

回答者の属性

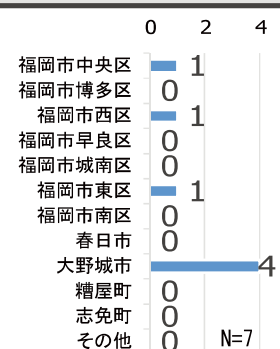
1. 性別



2. お子さんの年齢



3. お住まい



来ちみなあハウス宿泊初体験！

梅雨入り前の快晴の5月26日(土)、今年度1回目のプロジェクト会議＆私のコダワリトークが来ちみなあハウスにて開催されました。共助研からの参加者は、波木さんと私の2名と少くなく、申し訳なく感じました。

春の訪れとともに、「来ちみなあハウス」は休眠期から活動期に入ったわけですが、ハウスの内外は柴北川を愛する会の皆さんのおかげで、きれいに掃除されており、私たちを暖かく迎え入れてくれました。いつもながら、愛する会の皆さんには感謝です。

来ちみなあ13号で書いていますが、私は、なかなか「来ちみなあハウス」を訪れることができず、実は、今回が初の宿泊体験でした(汗)。今回は賢沢にも波木さんと2人で4LDKを貸切り状態で、「問う食うタイム」後に、2人で今後の共助研や夢アイデア実現の話をしつつ、満天の星空のもと紫煙をくゆらす！、朝、裏山から聞こえる鳥の鳴き声や陽の光で目を覚ます！、すがすがしい空気で深呼吸する！など、初体験を満喫しました。

今年度は、昨年度から実施を検討している「新・ながたに探検隊」、「ぶんごん食堂」の実現化をめざすための「ピザ窯設置」など、共助研としても新たな取り組みを行うことができると考えていますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

PS.この原稿を執筆した前日に、建コン協会九州支部創立50周年記念式典があり、建コン本部の会長挨拶の中で、九州における独自性・ユニークな取り組みとして、夢アイデアや共助研の話もありました。このことも糧として頑張ってくださいと思います。  
(共助研事務局長：松尾敏彦)

来ちみなあピザ いかがですか！



来ちみなあ16号

「来ちみなあ」伝言板

花いっぱい長谷まつり Part・17の予告

- 恒例となった「花いっぱい長谷まつり」を、6月24日(日)10～14時に開催します。(少雨決行)
- 10時から、黒松地区の「みんなの田んぼ」で田植え。毎年、多くの子ども達(かつての子ども達も)がどろんこになって手植えによる田植えを楽しみます。
- 12時から旧長谷小体育館で昼食と交流会。柴北川レディースによる盛りだくさんの長谷ランチを頬張り、伝統の神楽舞を楽しみます。

●昨年は、9月の大雨の影響で残念ながら稲の収穫ができませんでした。今年こそ豊かな収穫となるよう祈りながら、皆さんのご参加をお待ちしています。



コダワリトークで「はなれ古舎」の魅力を再確認

5月26日(土)開催の「私のコダワリ」トークでは、「はなれ古舎」店主の高野さんに、「こだわらない物づくり」(?)を語っていただきました。トークで紹介された注文生産の一品一品に、それを使う人への高野さんの思いがしっかりと込められており、「ながたに風」での稗田さんと同様に、参加者一同は「やはりコダワリ満載だ！」と感じ入った次第です。トークの次回開催は未定ですが、梅雨明けを待って窯焼きピザを楽しむながらのトークができる・・・かな(?) (波木健一)

「来ちみなあ」は、柴北上の県道から北に入った山際にある「来ちみなあハウス」(和洋室5室、ダイニングキッチン、バス、トイレ付住宅)での活動を紹介します。発行：「来ちみなあハウス」店子グループ



私と「はなれ古舎」

この地に嫁いで33年を迎えます。十数年過ぎた辺りから、このままこの静かな山里でゆっくりと老後を迎えようなどと想像していました。

ところが、現在の山里はとも賑やかです。高齢者も若者も忙しそうです。私自身も大方の予想を覆して、毎日が転がるように過ぎていきます。

そんな私が数年前、通勤の行き帰りにふと目に留まった旧長谷郵便局の人の出入り。こんな古い、今にも壊れそうな建物で何をしているのだろうと気になっていました。それが「はなれ古舎」でした。

店主・高野くんのお話を「第6回私のコダワリトーク」で聞くことが出来ました。

彼は、真夏の炎天下「はなれ古舎」前の広場で作業し、寒い冬には作業場の電気が遅くまで点いていることも度々で、その仕事ぶりに頭が下がる思いでみていました。私の家にも彼の作品が幾つかあります。素焼きの収納棚・キーケース・一輪挿しやイベント時に作った手捻りの焼き物の皿等々、どれも少しの違和感もなくもう何年も同居しています。現在の通信機器を駆使して、長谷から発信された作品や情報で集いの場を設け、何より若者がこの地に帰って頑張ってくれていることに感謝し、応援したいと思いました。

私も、最近お疲れ気味の頭に気合を入れて、高野くんの逆転の発想に倣い、負をプラスと考えてこれからの生活に活かしていきたいなあと思います。

先ずは「柴北川を愛する会」の上半期の一大イベント「田植え」を、皆さんと楽しみたいと思っています。

6月24日の日曜日、「みんなの田んぼ」でお待ちしています。  
(稗田紗都美)





# ながたに暮らし体験記

## 来ちみなあハウスを レトロ風味のゆるオシャレに!

月日が経つのは早いもの。初めて田植えを体験してからやみつきになって、3年連続で参加してきます。泥の中に裸足で入る気持ちよさといったら堪りません。昨年の豪雨で開催できなかったけれど、今年は2度目の収穫祭を楽しみにしています。

さて、今まで数回来ちみなあハウスには足を運びましたが、まだ宿泊体験はしておりません。女子が泊まるにはいろいろと課題があるようです。

しかし、体験者の皆さまが口をそろえておっしゃる満天の星!!私にはそれが見たいのです。外灯のないところに夜中に滞在する経験がなかなかなく、あっても曇天ばかりで...本当に渴望しています。町住みだった子どものころはブランチタイムに通ってました。

話を来ちみなあハウスに戻しましょう。現在、ピザ釜をつくるというオシャレな雰囲気のある企画があがっていますが、コレはすごくいい感じだと思います。これを機に内装のコンセプトも企画していきたいですね。「レトロ風味のゆるオシャレ」とかどうでしょうか。

今年は柴北新年会にも参加し、ついには佐伯さんとともに柴北川プロジェクトのサブリーダーに就任しました。これからの活動にご期待ください!  
(共助研:石橋美樹)



◀ 共助研の早乙女隊



2018年7月24日発行

# 来ちみなあ 17号

### 「来ちみなあ」伝言板

#### 「私のコダワリ」トーク 第7回の予告

- 次回は、8月末~9月頃に、共助研会員の青柳信幸さんにトークしていただく予定です。
- 青柳さんは、知る人ぞ知る釣り名人で、しかも里山をよくなく愛す風流人です。
- そんな青柳さんに、釣りや訪れた里山の魅力などをトークしていただきます。皆さん、ふるってお立ち寄りください。

#### 「田植え」を通して、「関係人口」が増える!

6/24(日)の黒松みんあんの田んぼでの「田植え」は、今回も新聞やケーブルテレビで大きく紹介され、長谷の恒例行事として定着しました。

当日は、快晴の青空の下、田植えそっちのけで泥田を転がりがまわる河童たちの歓声と、整った早苗田に汗をふく大人達の実顔が谷間いっぱい広がりが、田植え後はお目当ての昼バイキングに。今回も盛りだくさんのメニューに全員大満足で、レディースの皆さまの奮闘にはいつもながら大感謝です。

交流を通して都市と地域が一時的にも関わわりを持つ、「関係人口」が注目されています。地域の皆さまの歓迎ぶりが多くの人々に記憶としてインプットされ、やがて地域を支援する「外からの力」として育っていきます。何年後かに土・水・カレー等が長谷の記憶としてよみがえり、この河童たちが応援団として帰ってくる、そんな期待が膨らみます。(波木健一)

「来ちみなあ」は、柴北上の県道から北に入った山際にある「来ちみなあハウス」(和洋室5室、ダイニングキッチン、バス、トイレ付住宅)での活動を紹介します。  
発行:「来ちみなあハウス」店子グループ

# ながたに風



## レディース裏話 (みんなの「田植え」の舞台裏)

3月のレタスとキャベツの種まきから、私の「田植え」は始まります。おそらく、他の人も当日に合わせて漬物を漬けたり、野菜を知人に頼んだり保存したりの準備を早くからしていると思います。

「田植え」の一週間前にメニューを決定。先ずメイン(今年はカレー)を決め、旬の野菜を考慮しながら副菜を決めます。

決まると、チラシ片手に買い出しに走ります。

次は、前日準備。午後、調理室に集合し、各自持ち寄った「長谷産野菜」が所狭しと並びます。これらの野菜がどんな一品に変身するのが、レディースの腕の見せ所なのです。トントントン、まな板の軽快な音を聞きながら下ごしらえを一气に済ませます。夜は、個々自慢の煮物他を作ります。私は小ジャガイモの煮っころかしを作りました。

「田植え」当日は7時に集合し、各担当に分かれて作業開始です。生野菜が凍った、ガス釜が切れずにご飯が焦げた等のハプニングが続出でしたが、ベテラン揃いの私達は難なくクリア。揚げ物班は、家庭用中華鍋で悪戦苦闘を。業務用フライヤーがあれば、子供達の大好きな揚げ物が沢山出来るのにと毎回思います。私はカレー班。大鍋3個に150人分を仕込みます。カレーの匂いが漂い始める頃、テーブルには作りたての惣菜、採れたて生野菜、各家庭で作った煮物や漬物が並び「バイキング」の準備OK!一息つく間もなく、田植えから戻った人達でごった返す。この時ばかりはもう少し会員がいたらなあ!とつくづく思います。

バイキングに並ぶ人達やカレーを頼張る子供達を見ていると、今までの疲れが吹っ飛ばすと同時に柴北川レディースのメンバーで良かったと思います。また、秋の収穫に向けて、沢山の笑顔を楽しみにレディース一同、頑張ります。

常連の孫から「この人達、いろいろ作ってくれて優しいね!」と、嬉しい一言が。(柴北川レディース:伊東春子)





	企業名	所在地	電話
1	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング 九州支社	812-0872 福岡市博多区春町 1-6-6	092-571-5681
2	朝日開発コンサルタンツ(株)	892-0847 鹿児島市西千石町 5-1	099-226-6800
3	朝日航洋(株)九州空情支社	812-0013 福岡市博多区博多駅前 3-12-1	092-437-5905
4	朝日テクノ(株)	840-0203 佐賀市大和町大字梅野 280	0952-37-9300
5	アジアエン지니어リング(株)	815-0031 福岡市南区清水 1-14-8	092-553-2800
6	(株)アジア建設コンサルタント	815-0082 福岡市南区大楠 2-8-13	092-521-5931
7	アジア航測(株) 福岡支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 4-9-2	092-441-1480
8	(株)アスコ大東 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-9-3	092-433-2771
9	(株)有明測量開発社	861-4108 熊本市南区幸田 2-7-1	096-381-4000
10	いであ(株) 九州支店	812-0055 福岡市東区東浜 1-5-12	092-641-7878
11	(株)ウエスコ 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-4-11	092-483-3291
12	エイコー・コンサルタンツ(株)	815-0083 福岡市南区高宮 5-10-12	092-534-8150
13	(株)エイト日本技術開発 九州支社	812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-80	092-686-9941
14	(株)エース 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅前 2-9-25	092-292-0821
15	(株)エスケイエンジニアリング	818-0072 筑紫野市二日市中央 1-1-50	092-925-4880
16	(株)エム・ケー・コンサルタント	812-0882 福岡市博多区麦野 6-14-19	092-573-2777
17	(株)オオバ 九州支店	810-0074 福岡市中央区大手門 1-1-12	092-714-7521
18	扇精光コンサルタンツ(株)	851-0134 長崎市田中町 585-4	095-839-2114
19	応用地質(株) 九州支社	811-1302 福岡市南区井尻 2-21-36	092-591-1840
20	(株)オービット	812-0894 福岡市博多区諸岡 1-25-41	092-589-3418
21	(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-8	092-411-6209
22	(株)片平新日本技研 福岡支店	810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-2-22-3F	092-771-1170
23	川崎地質(株) 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-8-34	092-292-4386
24	(株)技術開発コンサルタント	812-0036 福岡市博多区上呉服町 12-8	092-271-2518
25	基礎地盤コンサルタンツ(株) 九州支社	814-0022 福岡市早良区原 2-16-7	092-831-2511
26	九建設計(株)	876-0822 佐伯市西浜 3-43	0972-22-4126
27	(株)九州開発エンジニアリング	862-0912 熊本市東区錦ヶ丘 33-17	096-367-2133
28	九州技術開発(株)	849-0937 佐賀市鍋島 5-7-23	0952-32-1112
29	九州建設コンサルタント(株)	870-0946 大分市大字曲 936-1	097-569-9595
30	九州工営(株)	880-0015 宮崎市大工 2-117	0985-28-1122
31	九州電技開発(株)	810-0005 福岡市中央区清川 2-13-6	092-533-5177
32	(株)九州土木設計コンサルタント	880-0123 宮崎市大字芳士 3701-59	0985-39-3330
33	九和設計(株)	806-0068 北九州市八幡西区別所町 2-38	093-641-3773
34	協同エンジニアリング(株)	870-0876 大分市大字三芳 1238-1	097-545-2111
35	(株)共同技術コンサルタント	880-0824 宮崎市大島町山田ヶ窪 1926-1	0985-29-0240
36	(株)橋梁コンサルタント 西日本支社	812-0013 福岡市博多区博多駅前 1-9-11	092-461-2011
37	(株)キョウワ	879-0627 豊後高田市新地 1952-3	0978-24-3062

	企業名	所在地	電話
38	(株)協和コンサルタンツ 九州支社	810-0001 福岡市中央区天神 3-11-20	092-733-1241
39	(株)熊本建設コンサルタント	862-0917 熊本市東区榎町 16-52	096-367-4111
40	(株)ケイディエム	883-0005 日向市中堀町 3-119	0982-52-0696
41	(株)ケー・シー・エス 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-4	092-472-4521
42	(株)建設環境研究所 九州支社	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 2-1	092-271-6600
43	(株)建設技術研究所 九州支社	810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12	092-714-2211
44	(株)建設技術コンサルタンツ	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-1	099-229-2800
45	(株)建設技術センター	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 1-1	092-283-6610
46	(株)建設コンサルタントサニー	870-0952 大分市下郡北 3-18-43	097-567-8600
47	(株)晃和コンサルタント	880-0925 宮崎市大字本郷北方 3009-1	0985-51-5818
48	(株)興和測量設計	861-5501 熊本市北区改寄町 2141-1	096-272-7711
49	国際技術コンサルタント(株)	849-0203 佐賀市久保田町大字新田 3797-3	0952-51-3711
50	国際航業(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-3	092-451-5001
51	(株)国土開発コンサルタント	880-0015 宮崎市大工 3-155	0985-24-6487
52	(株)国土技術コンサルタンツ	890-0008 鹿児島市伊敷 2-14-10	099-229-0030
53	(株)コスモエンジニアリング	843-0001 武雄市朝日町大字甘久 3796	0954-23-0200
54	(株)五省コンサルタント	812-0027 福岡市博多区下川端町 9-12-4F	092-281-4210
55	(株)コンサルハマダ	861-8034 熊本市東区八反田 1-1-15	096-385-1171
56	(株)サザンテック	876-0802 佐伯市日の出町 2-10	0972-23-2616
57	(株)佐藤設計コンサルタント	879-7111 豊後大野市三重町赤嶺 902	0974-22-6432
58	(株)サン建コンサルタント	879-5502 由布市挾間町向原 1298-1	097-583-4218
59	サンコーコンサルタント(株) 九州支社	810-0802 福岡市博多区中洲中島町 2-3-6F	092-271-2903
60	(株)サンコンサル	812-0888 福岡市博多区板付 2-5-4	092-582-1290
61	(株)三洋コンサルタント 九州支店	800-0031 北九州市門司区高田 1-3-1	093-342-8240
62	ジーアント・エスエンジニアリング(株)	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-24-9	092-481-3100
63	JR九州コンサルタンツ(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-1-14	092-413-1021
64	シビックアーツコンサルタント(株)	815-0041 福岡市南区野間 1-27-1	092-555-4151
65	(株)新栄設計事務所	857-0051 佐世保市浜田町 2-27	0956-25-1549
66	新日本開発工業(株) 九州事務所	812-0011 福岡市博多区祇園町 8-12-1027	092-273-2300
67	(株)新日本技術コンサルタント	890-0034 鹿児島市田上 8-24-21	099-281-9143
68	(株)親和コンサルタント	849-0933 佐賀市卸本町 7 番 25 号	0952-32-1348
69	(株)スリーエヌ技術コンサルタント	812-0043 福岡市博多区堅粕 4-24-14	092-482-7800
70	精巧エンジニアリング(株)	879-5103 由布市湯布院町川南 11-3	0977-85-3344
71	(株)精工コンサルタント	847-1211 唐津市北波多岸山 611 番地 16	0955-64-2237
72	(株)西部技建コンサルタント	886-0004 小林市細野 4158	0984-24-0511
73	(株)西部技術コンサルタント	812-0016 福岡市博多区博多駅南 4-18-12	092-437-5711
74	セントラルコンサルタント(株) 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-11-28	092-432-5385
75	(株)総合技術コンサルタント 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-9-3	092-432-0555
76	(株)第一技術コンサルタント	815-0036 福岡市南区筑紫丘 2-6-11	092-554-1773

	企業名	所在地	電話
77	第一復建(株)	815-0031 福岡市南区清水 4-2-8	092-557-1300
78	ダイエーコンサルタント(株)	879-0311 宇佐市大字森山 1813-5	0978-32-0584
79	(株)大進	890-0016 鹿児島市新照院町 21-7	099-239-2800
80	(株)大進コンサルタント	861-2102 熊本市東区沼山津 4-2-22	096-365-0112
81	大成ジオテック(株)	830-0038 久留米市西町 1174-10	0942-34-5622
82	大日本コンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-10-35	092-441-0433
83	大福コンサルタント(株)	890-0068 鹿児島市東郡元町 17-15	099-251-7075
84	(株)太平設計	802-0023 北九州市小倉北区下富野 1-6-21	093-551-1413
85	(株)ダイヤコンサルタント 九州支社	812-0044 福岡市博多区千代 5-3-19	092-645-1280
86	太陽技術コンサルタント(株)	882-0062 延岡市松山町 1170-1	0982-33-2107
87	大洋測量設計(株)	879-0444 宇佐市大字石田 44	0978-32-4234
88	(株)高崎総合コンサルタント	839-0809 久留米市東合川 3-7-5	0942-44-8333
89	玉野総合コンサルタント(株) 福岡支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12	092-451-6141
90	(株)地圏総合コンサルタント 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-11-26	092-260-9907
91	中央開発(株) 九州支社	814-0103 福岡市城南区鳥飼 6-3-27	092-831-3111
92	(株)中央技術コンサルタンツ 西日本支社	862-0950 熊本市中央区水前寺 6-27-25	096-383-5353
93	中央コンサルタンツ(株) 福岡支店	812-0039 福岡市博多区冷泉町 2-1	092-271-2541
94	中央復建コンサルタンツ(株) 九州支社	812-0038 福岡市博多区祇園町 4-61	092-282-0441
95	(株)長大 福岡支社	810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1	092-737-8360
96	(株)千代田コンサルタント 九州支店	812-0018 福岡市博多区住吉 2-2-1-3F	092-262-0770
97	(株)テクノ	839-0809 久留米市東合川 3-1-21	0942-44-8700
98	(株)テクノコンサルタント	870-0108 大分市三佐 1-5-14	097-527-5111
99	東亜建設技術(株)	819-0046 福岡市西区西の丘 1-7-1	092-892-7710
100	(株)東亜コンサルタント	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-28-10	092-415-1313
101	東亜コンサルタント(株)	870-0132 大分市大字千歳 371-1	097-558-4884
102	(株)東京建設コンサルタント 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-12-3	092-432-8000
103	(株)東光コンサルタンツ 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-3-3	092-472-3323
104	(株)トーチコンサルタント 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-6-10	092-686-7300
105	東洋技術(株)	870-0856 大分市大字畑中 433	097-554-5330
106	東洋測量設計(株)	879-2421 津久見市大字津久見 515	0972-82-5646
107	(株)トキワ・シビル	812-0882 福岡市博多区麦野 1-22-3	092-571-3737
108	豊福設計(株)	857-0136 佐世保市田原町 9-15	0956-41-4333
109	内外エンジニアリング(株) 福岡支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-20-3	092-431-2851
110	(株)西田技術開発コンサルタント	880-0911 宮崎市大字田吉 6186-5	0985-52-1227
111	西鉄シー・イー・コンサルタント(株)	815-0033 福岡市南区大橋 2-8-1	092-235-9140
112	西日本・開発コーポレーション(株)	810-0022 福岡市中央区薬院 3-13-23	092-526-8887
113	西日本技術開発(株)	810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1	092-781-2831
114	西日本建技(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-13-6	092-441-7676
115	西日本コンサルタント(株)	870-0852 大分市大字奥田 646-1	097-543-1818



	企業名	所在地	電話
116	西日本総合コンサルタント(株)	849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉 3114-3	0952-98-2141
117	(株)西日本測量設計	830-0051 久留米市南 1-14-11	0942-32-2323
118	(株)日建技術コンサルタント 九州支社	812-0024 福岡市博多区綱場町 8-23	092-263-5250
119	(株)日建コンサルタント	870-0018 大分市豊海 3-7-7	097-534-0313
120	日進コンサルタント(株)	871-0025 中津市万田 602-2	0979-24-5436
121	(株)日水コン 九州支所	812-0038 福岡市博多区祇園町 7-20	092-282-1354
122	(株)日設コンサルタント	812-0024 福岡市博多区綱場町 9-28-3F	092-262-2377
123	日鉄鉱山コンサルタント(株) 九州本社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-23	092-451-6467
124	日本工営(株) 福岡支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12	092-475-7131
125	日本交通技術(株) 九州支店	812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 8-20	092-433-3070
126	日本振興(株) 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-5-21-2F	092-481-0264
127	(株)日本港湾コンサルタント 西日本事業本部 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-13-28-7F	092-482-0345
128	日本地研(株)	812-0894 福岡市博多区諸岡 5-25-25	092-571-2764
129	(株)ニュージェック 九州支店	810-0001 福岡市中央区天神 2-8-30-4F	092-715-3301
130	(株)萩原技研	892-0816 鹿児島市山下町 16-20	099-222-8700
131	パンフィックコンサルタンツ(株) 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-19-24	092-409-3011
132	(株)パスコ 九州事業部	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-5-2	092-451-3522
133	(株)東九州コンサルタント	882-0861 延岡市別府町 4209-2	0982-33-1120
134	(株)久永コンサルタント	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-2	099- 228-6600
135	日向測量設計(株)	883-0013 日向市新生町 1-72	0982-52-5445
136	フェニックスコンサルタント(株)	880-0121 宮崎市大字島之内字境田 6652	0985-39-2914
137	(株)福山コンサルタント	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-18	092-471-0211
138	(株)富士設計	870-0045 大分市城崎町 2-4-13	097-536-1479
139	(株)復建エンジニアリング 福岡支社	810-0001 福岡市中央区天神 1-14-16	092-716-6262
140	復建調査設計(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-24	092-471-8324
141	(株)間瀬コンサルタント 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-28	092-471-6610
142	(株)松尾設計	805-0061 北九州市八幡東区西本町 2-5-5	093-661-4970
143	松本技術コンサルタント(株)	871-0161 中津市大字上池永 1285-10	0979-23-3636
144	(株)水野建設コンサルタント	862-0933 熊本市東区小峯 2-6-26	096-365-6565
145	(株)溝田設計事務所	830-0032 久留米市東町 480-16	0942-38-6548
146	三井共同建設コンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1	092-441-3872
147	(株)宮崎産業開発	880-0022 宮崎市大橋 3-225	0985-27-7103
148	八洲開発(株)	862-0920 熊本市東区月出 1-1-52	096-384-3225
149	八千代エンジニアリング(株) 九州支店	810-0062 福岡市中央区荒戸 2-1-5	092-751-1431
150	(株)ワコー	861-4172 熊本市南区御幸笛田 3-19-1	096-370-3333

(平成 30 年 7 月 1 日現在 150 社)